

東北地方 1 か月予報

(7月20日から8月19日までの天候見通し)

平成25年7月19日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、降水量が多く日照時間の少ない状態が続くでしょう。また、期間の前半は東北太平洋側では、気温がかなり低くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

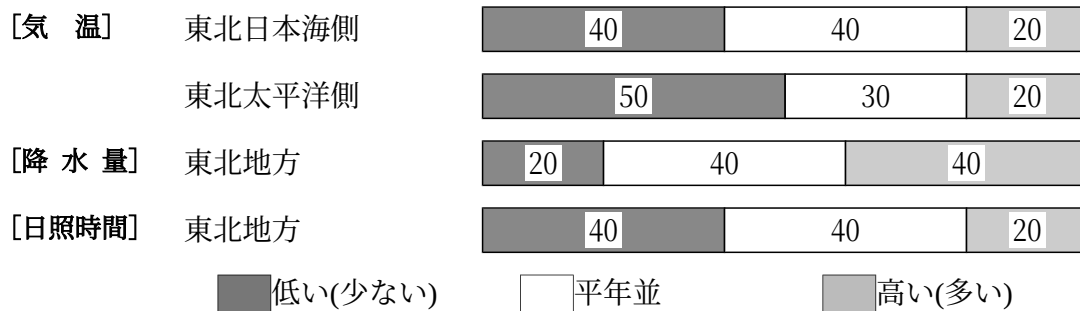
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では天気は数日の周期で変わる見込みです。

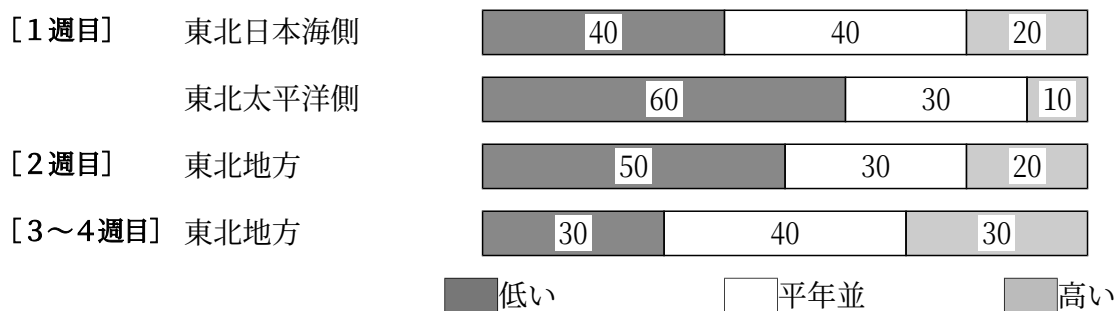
向こう1か月の平均気温は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率60%です。2週目は、低い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 7月20日(土) ~ 8月19日(月)
1 週目 : 7月20日(土) ~ 7月26日(金)
2 週目 : 7月27日(土) ~ 8月 2日(金)
3~4 週目 : 8月 3日(土) ~ 8月16日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月26日

3か月予報：7月25日（木） 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	23.2	114.5	180.0	22.3	23.3	23.7
深浦	23.2	150.2	179.4	22.3	23.2	23.5
むつ	21.6	129.5	148.3	20.6	21.6	22.0
八戸	22.3	113.3	169.8	21.3	22.4	22.8
秋田	24.8	155.9	187.1	24.0	24.9	25.2
盛岡	23.6	160.3	151.5	22.8	23.7	23.9
大船渡	22.9	155.8	151.6	22.0	22.9	23.3
宮古	22.0	139.6	160.4	20.9	22.0	22.5
仙台	24.0	147.0	144.5	23.1	24.1	24.4
石巻	23.2	104.1	164.7	22.4	23.2	23.7
山形	25.0	133.6	179.3	24.3	25.3	25.4
新庄	24.2	156.3	172.6	23.4	24.3	24.6
酒田	25.3	158.1	209.0	24.5	25.4	25.7
福島	25.4	132.4	152.9	24.6	25.6	25.8
若松	25.2	134.5	200.7	24.4	25.4	25.5
白河	23.6	198.4	146.7	23.0	23.8	23.9
小名浜	23.7	122.6	183.9	22.9	23.6	24.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981 ～ 2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.8	75 ～ 116	90 ～ 112
東北日本海側	-0.6 ～ +0.6	72 ～ 114	88 ～ 114
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.9	75 ～ 114	86 ～ 115

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +1.3	-0.7 ～ +1.3	-0.6 ～ +0.9
東北日本海側	-0.7 ～ +1.2	-0.7 ～ +1.3	-0.6 ～ +0.8
東北太平洋側	-0.7 ～ +1.4	-0.7 ～ +1.5	-0.5 ～ +0.9

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ～ 2010 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成25年7月19日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（7月20日～8月19日）：

期間の前半は、前線や気圧の谷の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、太平洋高気圧に覆われる日が多くなり、東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では天気は数日の周期で変わる見込みです。期間の前半は、降水量が多く日照時間の少ない状態が続き、東北太平洋側では気温がかなり低くなる可能性があります。梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。

向こう1か月の平均気温は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目（7月20日～7月26日）：

前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日があるでしょう。

気温は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率60%です。

2週目（7月27日～8月2日）：

前線や気圧の谷の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。オホーツク海高気圧の影響で東北太平洋側を中心に気温がかなり低くなるとみられます。

気温は、低い確率50%です。

3～4週目（8月3日～8月16日）：

太平洋高気圧に覆われる日が多くなりますが、気圧の谷の影響を周期的に受けるでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

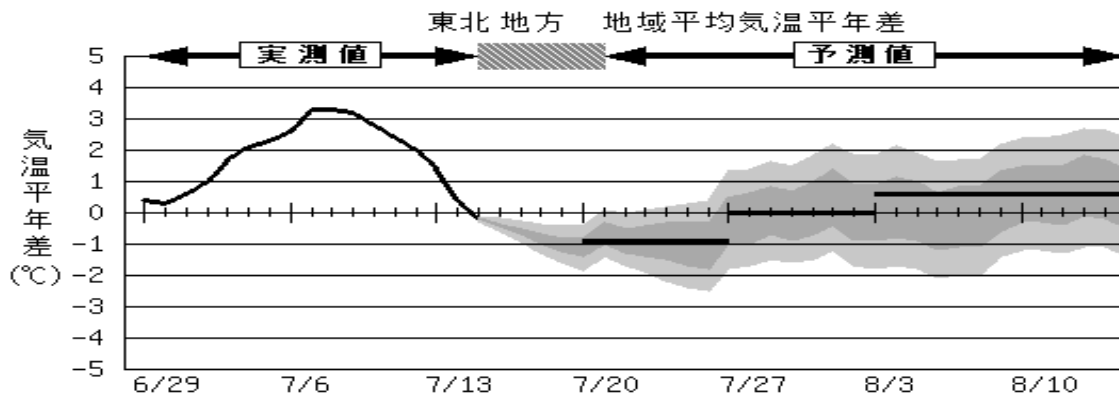
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
14.3	7.8	14.2	8.4	12.5	9.1	11.4	9.2	15.2	8.2	12.6	8.4

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。2週目は他の資料より平年を下回る可能性が大きいと考える。



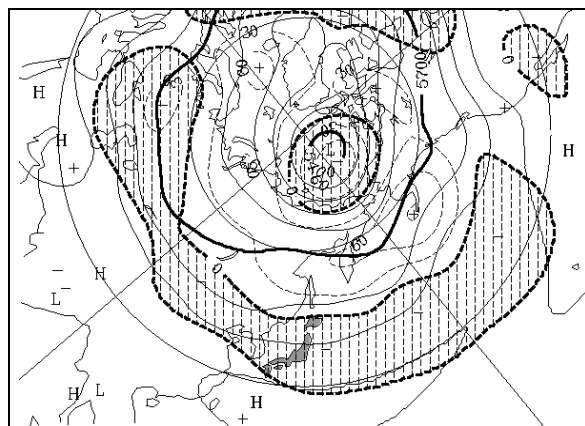
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 高緯度帯は正偏差、日本付近は帯状に負偏差となる。太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、期間の前半は前線や気圧の谷、オホーツク海高気圧の影響を受けやすい見込み。気温は東北太平洋側を中心に低く、降水量は多い傾向、日照時間は少ない傾向の見込み。梅雨明けは平年より遅くなる予想。

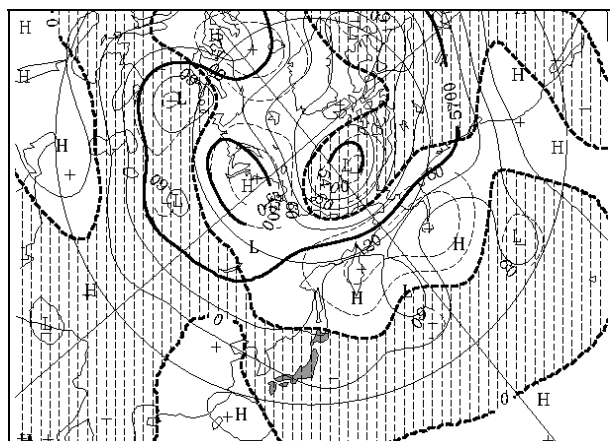
1週目: カムチャツカ半島付近を中心に正偏差、日本付近は帯状に負偏差となる。太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、前線や気圧の谷、オホーツク海高気圧の影響を受けやすい見込み。

2週目: 東シベリア付近を中心に正偏差、日本付近は負偏差となる。1週目に引き続き太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、前線や気圧の谷、オホーツク海高気圧の影響を受けやすい見込み。東北太平洋側を中心に冷たく湿った東よりの風の影響で、気温がかなり低くなるとみられる。

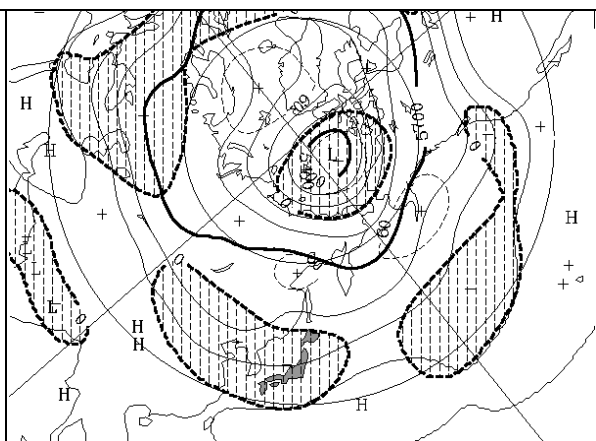


1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図



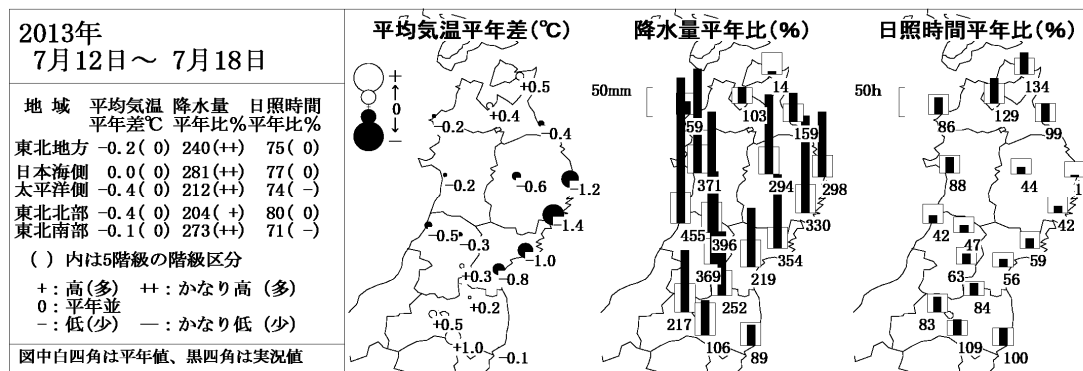
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（7月12日～7月18日）の天候の経過

この期間、前線や低気圧の影響で雨の日が多かった。期間の終わりには冷たく湿った東よりの風の影響で東北太平洋側を中心に気温は平年を下回った。連日の大雨となり、12日は秋田県、岩手県、山形県で、13日は山形県で、15日は岩手県で、18日は岩手県、山形県、宮城県で日降水量が100mmを超えた所があった。12日は秋田県内の各地で7月としての日降水量の多い方からの1位を記録した。18日は山形県で記録的な大雨となり日降水量が200mmを超えた所があった。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)